

プロジェクトスタディ2 課題探究 テーマ設定に向けて①

7月20日（月）、22日（水）に2年生普通科課題探究の3時間目として、分野別のグループに別れてのグループ協議を行いました。課題設定に向けての3つのステップ「①探究したい分野を見つける。」「②探究したい分野を深掘りし、テーマを決める。」「③探究したい分野から探究課題（問い）を決める。」のうちの②の時間になります。課題探究を進める上で、このテーマ設定の時間が最も重要であるということで、各クラスの授業には益田市社会教育課・学校教育課、ユタラボから10名以上の方にお越しいただき、各グループにファシリテーターとして入っていただきました。

まず始めにユタラボの山崎さんから課題探究に取り組む上で大事にして欲しい観点として、「**自分の身のまわりのことに焦点を当てる。**」「**高校生ができることを考える。**」という2点のアドバイスをいただきました。これから主体的に課題探究に取り組むためには、**自分ごと**として課題を設定しなければならないということです。

グループ協議では、まずはお互いにどのような興味・関心を持っているのかを付箋を模造紙に貼りながら共有しました。そこからグループテーマの決定を目標に、ファシリテーターの方に助けていただきながら各分野の深掘りをしていきました。グループごとに差はあるものの、各グループともテーマ設定に向けてある程度の方向性が見えてきました。

授業後にはお世話になったファシリテーターの方がそのまま会場に残ってくださり、本校教員と合同で振り返りの会を行いました。各グループの進行状況の報告や今後の方向性の共有など、皆さんがとても熱心に語ってくださいました。益高生のためにこんなにも多くの校外の大人の方が熱意をもって関わってくださることに感謝の気持ちで一杯です。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

生徒の感想より

「自分では考えたこともなかったけど、言われてみれば共感できることも多く、視野が広がった気がした。」

「益高の人口増加のための提案を考えていたが、まずは益高市民の心を豊かにしないと他県の人々が来たいと思わないことに気がついた。理系だからこそ出せる提案を考えられればより楽しい課題探究になると思う。」

「同じ分野でも一人一人切り口が違って面白かった。同じようなテーマでも広げた先が全然違ったが、ある程度広がっていくと同じような課題に行き着いていくのが面白かった。」

「ファシリテーターの方が、自分の興味あることにどんどん質問してくれて、深く深く掘り下げていくのがとても楽しかった。」

「基本的にはとてもわくわくしているが、発表は上手くできるのか、まとめはきちんとできるのか、探究にあたっての不安がたくさんある。不安を無くしてわくわく感を100%にできるようにしたい。」

